

第16章 福島県立美術館

第1節 概要

・福島県博物館連絡協議会 (理事)

開館17年を迎えた福島県立美術館は、さまざまなテーマによる展覧会をはじめ、各種講座等の普及事業を開催し、さらに、美術の情報センターとしての機能の充実を図ってきた。また、美術品の収集・保存とともに広範な調査研究活動をすすめて、成果の蓄積に努力してきた。

当年度の美術館活動の概要は、次のとおりである。

1 美術館運営協議会

(1) 委員

- 穴戸 美喜子 福島県中学校教育研究会美術部常任研究委員 (平成11. 8.21~)
- 千葉 洋子 福島県高等学校教育研究会美術工芸部会県南支部長 (平成11. 8.21~)
- 杉原 陸夫 福島県文化センター館長 (平成12. 7.14~)
- 西村 榮悟 福島県美術家連盟委員長 (平成11. 1. 1~)
- 西間木 セツ子 福島県市町村教育委員会連絡協議会員 (平成11. 1. 1~)
- 白井 嘉一 福島大学教育学部長 (平成11. 8.21~)
- 井原 達夫 日本放送協会福島放送局長 (平成12. 7.14~)
- 湯浅 孝子 財団法人湯浅報恩会理事長 (平成11. 1. 1~)
- 長谷部 満彦 茨城県陶芸美術館長 (平成12. 7.14~)
- 加藤 雅美 福島県議会議員 (平成11. 8.21~)

(2) 協議会の開催

- ① 期日 平成13年3月6日
- ② 内容
 - ・平成12年度事業実績の概要について
 - ・平成13年度予算の概要について
 - ・平成13年度事業計画の概要について
 - ・福島県立美術館の運営について

2 他館等との連携

県内外の博物館施設および連絡協議会等との連携を図り、運営、企画展、教育普及、調査研究等に関する情報交換並びに研修をすすめた。

(1) 加盟団体

- ・全国美術館会議 (監事)
- ・美術館連絡協議会 (理事)
- ・日本博物館協会 (会員)
- ・日本博物館協会東北支部 (監事)
- ・東北地区博物館協会 (監事)
- ・東北美術館会議 (会員)

(2) 研修の受け入れ

- ・博物館実習 平成12年8月27日~9月2日(実習生8名)

第2節 美術品の収集・保存

美術品等の情報収集をすすめ、購入および企画展出品作品の寄贈を受けるなど収蔵品を充実した。また、収蔵品や資料の保全を図り、他館への貸出についても協力した。

1 収蔵作品点数一覧

(平成13年3月31日現在)

種別	購入点数	受贈点数	移管点数	合計
海外(絵画・版画・彫刻)	223	10	0	233
日本画	63	69	115	247
洋画	90	100	98	288
版画	132	439	40	611
彫刻	3	4	48	55
工芸	67	9	33	109
書	0	1	36	37
下絵等	34	14	11	59
合計	612	646	381	1,639

2 収集評価委員会

委員を次の方々に委嘱した。

- 三木 多聞 東京都写真美術館長 (昭和55. 4. 1~)
- 原田 實 元福島県立美術館長 (平成4. 4. 1~)
- 長谷部 満彦 茨城県陶芸美術館長 (平成13. 1.30~)
- 村田 哲朗 郡山女子大学教授 (平成8.11.21~)
- 真室 佳武 東京都美術館長 (平成8.11.21~)